

## 【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### グローバル化と納税

熊本市立錦ヶ丘中学校

二年 甲斐 皇雅

僕たちが暮らす日本では、近年グローバル化が進み外国人労働者が増加してきました。特に僕が暮らす熊本は、台湾の大手半導体企業が進出したことにより、一年間で五〇〇人近く増え増加率で見ると全国で一位となりました。外国人が増えるメリットは労働力不足が貴重な人材によつて解消されます。しかし本当にいいことだけなのでしょうか。

外国人が日本で生活するにはもちろん住む家や医療が必要です。さらに、家族を帯同した場合、教育や児童福祉なども加わり、これらは税金で賄われています。また、外国人を含め住民が多い地域では公共施設や道路などのインフラを整えることにより、さらに税負担がかかります。

一方、税収の面からみると、一部の外国人移住者が税金を払わないことが問題となっているということです。ある自治体の住民税の滞納率は、日本人世帯は約四％であるのに対し、外国人世帯は二〇％、永住者では一八％と、どちらとも高かったそうです。

次に、なぜ外国人の滞納率が高いのかを調べると二つのことが分かりました。

一つ目は、日本での税金の払い方や、税制度に関しての知識が乏しいということです。税金を支払う際の手続きは、複雑であったり、日本人でも分かりづらい税制度が多く、言語の壁がある中、外国人が理解するのは難しいことだと思います。例えば、住民税は一月一日に日本に住所があり一定の給料を受け取ると発生する地方税です。ただし外国人労働者の場合、日本への滞在期間が短いと住民税が発生しない場合があります。

しかし、シンガポールでは外国人労働者が帰国する際にきちんと納税しているかチェックする制度があり、この手続きが完了するまで企業は給料の一部を支払ってはいけないというルールがあります。また、納税しなければ出国できない場合もあるそうです。この制度があれば言語がわからなくても滞納率は下がるのではないかと思います。

二つ目に、外国人労働者が経済的に苦しい状況にあるということです。

現在、外国人労働者の賃金は日本人と比べ、低い傾向にあります。さらに外国人労働者の中には、母国にいる家族などに仕送りをする人もいたため、こうした現状の中、税金を納めることが難しくなっています。企業や行政が外国人に寄り添い、フォローやサポートをしていくことが大事だと思います。

僕は、これらのことから外国人労働者についての理解を深め、今の制度を見直し他の先進国のような制度を取り入れることで外国人労働者も納税しやすくなると 생각합니다。今一度検討することによって外国人労働者の税金問題を解決し、労働力不足問題が深刻な日本を、外国人労働者という貴重な人材が将来の日本を支えてくれるといいなと思います。